

平成 28 年度 地方創生加速化交付金事業

1. 「食と観光によるコミュニティビジネス創生事業」

【事業費】 8,000 千円（国からの交付金 8,000 千円）

【運営主体】 株式会社ちいきおこし（平成 28 年 5 月設立）

【事業概要】

松江市及び周辺圏域には、磨きをかければ輝き、人々に笑顔をもたらす地域資源が埋もれている。

運営事業者が地域の生産者や企業等とつながり、それらを発掘し、磨き上げ、新たな商品、サービス開発など行い、地域産品の店舗販売、通信販売、マルシェ、関連する食と観光イベント等を効果的、一体的に行う事業に補助金を支出するもの。

【事業者による取り組みの内容】

①アンテナショップ整備（平成 29 年 3 月 22 日オープン）

- ・年間 110 万人の観光客が訪れる玉造温泉にアンテナショップを設置。
生産者の思いやこだわりを伝え、販売を行うとともに、マーケティング、生産者と消費者の交流、情報発信の場として運営する
- ・建物は市から購入し、改修して活用。建物敷地は、市と賃貸借契約を締結。（改修費用は交付金の対象外）

②ICT 整備（地域産品販売システム構築、運用）

- ・アンテナショップで販売する商品や生産者、産地の紹介、マルシェ・イベント開催情報の発信や購入申込、消費者と交流、マーケティング、継続購入を促すような仕組みが整っているシステムを構築。

③定期的なマルシェの開催

- ・生産者自らがこだわりを持って生産している産品を消費者へ直接「伝える場」、「消費者の意見を聞く場」、「消費拡大につなげる場」として運営。
- ・平成 28 年度は 2 回以上開催し、次年度以降は段階的にでも定期的に開催することを想定。
- ・松江市及び周辺等地域でこだわりをもって生産されている良品を扱う。

○第 1 回まつえマルシェ：道の駅本庄で毎年行われている「柿祭り」とタイアップ

日時：平成 28 年 11 月 5 日（土）9：00～15：00 出店：10 店 来場者：約 3,000 人

○第 2 回まつえマルシェ：JR 松江駅前こだわり市場周辺

日時：平成 29 年 3 月 20 日（月）10：00～15：00 出店：10 店 来場者：約 1,800 人

④食と観光イベントの開催

- ・アンテナショップやマルシェで扱う産品の出店者の生産現場を訪れ、生産者の思い、産品を知っていただき、ファンの拡大を図る産地体感型ツアーなどを開催する。

○第 1 回松江産地探訪

「柿まつり」とセットで開催。柿生産者を訪れ、様々な体験などができるよう企画する。

ウォーキングを取り入れた「健康」と「食」をコラボさせた体験型観光ツアーを実施。

日時：平成 28 年 10 月 16 日（日）10：00～14：00 場所：道の駅本庄と周辺 参加者：32 名

【地方創生加速化交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の実績】

KPI	実績値（H28）	目標値（H31）
アンテナショップ、ネット販売売り上げ	748 千円	35,000 千円
マルシェへの出店者、食と観光イベント受入団体数	20 団体	30 団体
地域商社機能を有する民間事業者、商品・サービスの生産など 利害関係者の従事者・就業者の純増数	—	20 人
マルシェ、食と観光イベント来場・参加者純増数	4,832 人	20,000 人

【玉造温泉にオープンしたアンテナショップ】



平成 28 年度 地方創生加速化交付金事業

2. 「プログラミング言語『Ruby』によるローカルイノベーションプロジェクト」

【事業費】 20,587 千円 (国からの交付金 20,000 千円)

【運営主体】 松江市インド IT 人材受入・企業誘致調査事業実行委員会
(松江市・県・島根大学などで構成)

【事業概要】

インド・ケララ州の IT 人材の松江市内企業への就職及びケララ州、松江市の IT 企業の相互進出や業務提携を進めるために必要となる課題を整理し、今後の方向性（必要に応じて短期、中期、長期的な取り組み内容）を明らかにするために、アンケートやインターンシップ等の調査事業に対し補助金を支出するもの。

【実行委員会による取り組みの内容】

①圏域 IT 企業アンケート

- ・回答社数 50 社/81 社（島根県情報産業協会会員企業等）
- ・インド（海外）IT 人材の採用に何らかの関心がある企業が約 5 割
- ・全ての企業が、日常会話以上の日本語能力を必要と考えている
- ・多くの会社が、インド IT 人材に日本への定住または海外とのブリッジ SE を期待

②インド・ケララ州アンケート・現地調査

- ・回答社（者）数 企業 50 社、学生 402 名
- ・ケララ州の IT 人材は海外での就職に抵抗がない（ただし、80%が 5 年以内の帰国を希望）
- ・日本企業との業務提携などには関心あり

③インターンシップ事業

- ・実施期間 平成 29 年 1 月 16 日～20 日（Ruby 研修）
1 月 23 日～27 日（企業インターンシップ）
参加者 11 名（企業従事者：5 名、学生：6 名）
- ・全ての学生参加者がインターンシップ先の企業に就職希望。（11 名のうち 1 名が内定、1 名が平成 29 年 9 月就職）
- ・受入企業は研修生の能力、人柄を高く評価

【地方創生加速化交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の実績】

KPI	実績値	目標値（H31）
誘致・新增設企業数（市内へ誘致した企業数、新增設をした企業数）	18 社（H27～H28） （年平均 9 社）	延べ 45 社 （年平均 9 社）

【インターンシップの様子】

